整理番号 313			13												
部	局 名	都市計画	画部			所属名 都市魅力づくり推進課				所属	属 長	岸本	宏		
事務	事業名	00691	まちなた	か町家利	舌用推進	事業					記り	人者	松岡	俊也	
< 1.	基本事	項>													
	区分	コード				名		称							
	方針	03		+適に住る	み続ける	ことので	できる活力の		創ります		根				
総合計		02					まちにしま なまちにしま		A1 7 00 7		法 名	等			
画の位			<u> </u>				3 5 1 C C A	• 7			_		和丰田	生整備記	
置付け		01		リアの再生		が以					関連		נויט וב י	工步拥占	1 124
	視点	01		リアの再生							個別				
	重事	01	都心エリ	リアのに											
関連		ード				事 務	事 業 名	称				ード		所 属	名 称
事業															
3. 26															
予	会	計	枠	事	業 種	別		予算	事業:	名			始其	明 • 終	期
算	一般	会計	政策	評価対象	事業		まちなか町	家利活用推	准事業費						
事							0.000	-3-13-47-63-4	_ , ,,,,,						
業															
	江戸時代	もに大津	 百町と称	「されたに	ぎわい	あふれる	都市形成の	機軸となっ	た地域にお	いて	. 旧東海道	が持つ情	書緒ある	る風情と	調
古衆の							みを保存、								
事業の 概 要	魅力を多	発信する	べく、歴	E 史的遺產	産を活用	した事業	を推進する	0							
1996 安															
بدر <u>جار</u>	<u> </u>	_ +=	4 —	#K.E- #F.F	- -	O##	f	タロルエン		. ^ -	<u></u> Д Г 2 -	\ / lb /			
		■直営		指定管理	≝石 ∐	氏间委託	t 山田道	資団体委託	□ 補助	金父	付 口 その	71世 ()
< 2.	事業分				# //	I.									
	目的		中心市的	封地の活	生160773	(8)									
	可のため														
	対 象		大津百四	町と称され	れた歴史	的な情経	者ある風情と	:調和したま	ちなみ空	間や問	丁冢等の歴史	P的資源	を		
(1	可又は誰	を)													
	手 段	Ž	整備・糸	維持・保存	存・利活	用するこ	ことにより								
(どの	ようなやり	り方で)													
	成 集	Į	まちづく	くりに対す	する地域	の機運る	高め、地域	【の魅力を発	信する						
(どのよ	成 果 うな状態に [*]	-	まちづく	くりに対す	する地域	の機運る	を高め、地域	が の魅力を発	信する						
		-	まちづく	くりに対す	する地域	の機運る	を高め、地域	ばの魅力を発	信する						
	うな状態に	するのか)		くりに対 ^っ 29年度		でである。 10年度	を高め、地域 令和元年		信する 2年度	令	和 3年度				
	うな状態に	するのか)	平成2		平成3			度 令和			和 3年度		備	7	<u>*</u>
<3.	経費>	するのか) D O	平成2	29年度 [(千円)	平成3	0年度 i(千円)	令和元年, 決算額(千	度 令和 円) 予算者	2年度傾(千円)		└額(千円)		備	7	¥ 7
<3.	経費>	するのか) DO	平成2	29年度 〔(千円) 134, 500	平成3	80年度 (千円) 28,806	令和元年 決算額(千 1,	度 令和 円) 予算和 , 504	2年度 頃(千円) 0		<mark>└額(千円)</mark> 0		備	‡	*5
<3.	きまる を表する を注解する は接経費 は、件、費	DO A B	平成2	29年度 (千円) 134,500 16,400	平成3	0年度 (千円) 28,806 12,300	令和元年 決算額(千 1, 4,	度 令和 円) 予算和 , 504 , 150	2年度 項(千円) 0 0		<mark>└額(千円)</mark> 0 0		備	÷ #	¥.
<3.	直接経費 供費 費合計	D O A B A+B	平成2	29年度 (千円) 134, 500 16, 400 150, 900	平成3	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106	令和元年 決算額(千 1, 4,	度 令和 円) 予算 , 504 , 150 , 654	2年度 項(千円) 0 0 0		<mark>└額(千円)</mark> 0 0 0		備	. ‡	v 1
43. 事業	うな状態に 経費> 直接経費 件費 費合計・	D O A B A+B	平成2	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884	平成3	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440	令和元年 決算額(千 1, 4,	度 令和 円) 予算4 , 504 , 150 , 654 0	2年度 項(千円) 0 0 0		Vag(千円) 0 0 0 0		備	; ‡	-
43. 事業	うな状態に 経費> 直接経費 件費 費合計・	DO A B A+B 国	平成2	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0	平成3	30年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0	令和元年 決算額(千 1, 4,	度 令和 予算 ,504 ,150 ,654 0	2年度 項(千円) 0 0 0 0		公額(千円) 0 0 0 0 0		備	; ‡	-
<3.	うな状態に 経費> 直接経費 件費 費合計・	DO A B A H B G	平成2	29年度 (千円) 134, 500 16, 400 150, 900 5, 884 0 7, 900	平成3	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200	令和元年 決算額(千 1, 4,	度 令和 予算4 504 , 150 , 654 0 0	2年度 頃(千円) 0 0 0 0 0		Name (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	; 3	2 7 7 7
43. 事業	<u> </u>	DO ABA+B 国 情 の D の の は の は の は の は の は の は の は の は の	平成2	29年度 (千円) 134, 500 16, 400 150, 900 5, 884 0 7, 900 0	平成3	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 予算4 504 , 150 , 654 0 0 0	2年度 頃(千円) 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	; ;	*5
3.	<u> </u>	DO A B A+B 国 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	平成2	29年度 (千円) 134, 500 16, 400 150, 900 5, 884 0 7, 900	平成3	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 予算4 504 , 150 , 654 0 0	2年度 頃(千円) 0 0 0 0 0		Name (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	÷ ‡	* 1
43. 事業	ラな状態にできな状態にできます。	A B A + B 国	平成2	29年度 (千円) 134, 500 16, 400 150, 900 5, 884 0 7, 900 0	平成3	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200	令和元年。 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 予算4 504 , 150 , 654 0 0 0	2年度 頃(千円) 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	÷ 7	7 1
3. 事業	うな状態に経費>経費>賃接経費 費合計 が提供 費 起 で・ 一般員 数	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116	平成3	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 円) 予算4 , 504 , 150 , 654 0 0 0 0 0	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0		Name (千円) O O O O O O O O O O O O O		備	÷ 7	2
事業費源訳 職 員数	うな状態に A と する 直接経費 費合計・ よる しません しません これます。 これまする。 これまりまする。 これまする。 これまりまする。 これまする。 これまする。	A B A + B 国	平成2	29年度 (千円) 134, 500 16, 400 150, 900 5, 884 0 7, 900 0 137, 116 2. 00	平成3	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 円) 予算: .504 .150 .654 0 0 0 0 .654	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0		Name (千円) O O O O O O O O O O O O O		備	÷ ‡	Z
3. 事業	うな状態に Aと費 直接経費 費 世界 単元 その 一般 日本	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00	平成3	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200 0 19, 466 1, 50	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 予算4 , 504 , 150 , 654 0 0 0 0 , 654 0. 50	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	# ##	
事業費源訳 職 員数	うな状態に Aと費 直接経費 費 世界 単元 その 一般 日本	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00	平成3	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200 0 19, 466 1, 50 0, 00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 予算4 , 504 , 150 , 654 0 0 0 0 , 654 0. 50 0. 50 0. 00	2年度 頃(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		備	÷ 7	2
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	うな状態に 会社費 直接経費 費 上 その 人 上 と 会別 正 監	DO	平成2	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00	平成3	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200 0 19, 466 1, 50 0, 00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 予算4 , 504 , 150 , 654 0 0 0 0 , 654 0. 50 0. 50 0. 00	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 <mark>込</mark>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和元年		和 2年月	
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	ラな状態にできな状態にできな状態にできな状態を発力とである。 「「大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな	A B H B I D III D III B II B II B II B II	平成2 決算額 標	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00	平成3	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 円) 予算: ,504 ,150 ,654 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 <mark>込</mark>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			和 2年月	
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	ラな状態にできな状態にできな状態にできな状態を発力とである。 「「大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな	A B H B I D III D III B II B II B II B II	平成2 決算額	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00	平成3	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5,	度 令和 円) 予算: . 504 . 150 . 654 0 0 0 0 . 654 0. 50 0. 50 0. 00 0. 00	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 見 記 手 度	○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		∓度 令	和 2年月	₹ 令和 3年度
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	ラな状態に ・ 経費 > ・ 接接 費 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	A B A A 国 B M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額 標標	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200 0 19, 466 1. 50 1. 50 0. 00	令和元年。 決算額(千 1, 4, 5, 5, () () () ()	度 令和 円) 予算: . 504 . 150 . 654 0 0 0 0 0 . 654 0 . 50 0 . 50 0 . 50 0 . 00 0 . 00	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 ジ F E	○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		∓度 ○ 3	和 2年月	₹ 令和 3年度
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	→ な状態に ・ 経費 > ・ 経費 > ・ 接経 費 費	A B A B B G D 財(人) 提託 時 D O 指まち、 傷まち、 傷を を しまな 会 整	平成2 決算額 標標	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200 0 19, 466 1. 50 1. 50 0. 00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5, 5, 位 位 回 れた地域団	度 令和 円) 予算: ,504 ,150 ,654 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 ジ 10 3	○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		∓度 令 3 3 3	和 2年月	を 令和 3年度 0
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	→ な状態に ・ 経費 > ・ 経費 > ・ 接経 費 費	A B A B B G D 財(人) 提託 時 D O 指まち、 傷まち、 傷を を しまる と を を と を を を を と を を を と を と を と を と	平成2 決算 額 標	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 28, 806 12, 300 41, 106 9, 440 0 12, 200 0 19, 466 1. 50 1. 50 0. 00	令和元年。 決算額(千 1, 4, 5, 5, () () () ()	度	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 <mark>ジ</mark> 10 3 3 数 1 1	○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		∓度 ○ 3	和 2年月	₹ 令和 3年度
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	大きな状態に 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一	A B H B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 機関	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 i(千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5, 5, (((((((((((((((((((() (() (()	度	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 ジ 10 3	○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		∓度 令 3 3 3	和 2年月	を 令和 3年度 0
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	うな状態に うな状態 資 接件合 最大 大	ABABBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB	平成2 決算 標 横回 か	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 i(千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5, 5, 位 位 回 れた地域団	度 令和 円) 予算: 504 ,150 ,654 0 0 0 0 0 0 0,654 0.50 0.50 0.00 0.00 1目標・実績 年等との長 年間標 実績 体等との標 行回数	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見ジ 10 3 1	○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和元生	事度 令 3 3 1 1	和 2年度	を 令和 3年度 0
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	うな状態に うな状態 資 接件合 最大 大	ABABBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB	平成2 決算額 機関	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 i(千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5, 5, (((((((((((((((((((() (() (()	度 令和 円) 予算: .504 .150 .654 0 0 0 0 0.50 0.50 0.00 0.00 1 世標・実 日標 実数 日標 行回数 日標	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 F度 10 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>いまれています。 1000 では、1000 では、10</u>	令和元年	下度 令 3 3 3 1 1 1 100 100 100 100 100 100 100	和 2年度	を 令和 3年度 0
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	A B H B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算 標準 標準 業発 備 業発 備 業発 備 業 発 準 準 横 傾 で 推 が に 進	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5, 5, ((((() () () () () () () () () () ()	度 令和 円) 予算: 504 ,150 ,654 0 0 0 0 0 50 0 50 0 0,00 1 目標・実績 体等との長 手標 実績 体等との標 行回数	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見ジ 10 3 1	○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和元年	事度 令 3 3 1 1	和 2年度	を 令和 3年度 0
(3) 事業財 職の内 職の人 4.	→ な状態に → 経費 と 様件合	A B H B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算 標準 標準 業発 備 業発 備 業発 備 業 発 準 準 横 傾 で 推 が に 進	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5, 5, ((((() () () () () () () () () () ()	度 令和	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 F度 10 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>いまれています。 1000 では、1000 では、10</u>	令和元年	下度 令 3 3 3 1 1 1 100 100 100 100 100 100 100	和 2年度	を 令和 3年度 0
Table Tab	→ な状態に → 経費 と 様件合	A B H B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算 標準 標準 業発 備 業発 備 業発 備 業 発 準 準 横 傾 で 推 が に 進	29年度 (千円) 134,500 16,400 150,900 5,884 0 7,900 0 137,116 2.00 2.00 0.00 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 28,806 12,300 41,106 9,440 0 12,200 0 19,466 1.50 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 1, 4, 5, 5, ((((() () () () () () () () () () ()	度 令和 円) 予算: .504 .150 .654 0 0 0 0 0.50 0.50 0.00 0.00 1 世標・実 日標 実数 日標 行回数 日標	2年度 項(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見 F度 10 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>いまれています。 1000 では、1000 では、10</u>	令和元年	下度 令 3 3 3 1 1 1 100 100 100 100 100 100 100	和 2年度	を 令和 3年度 0

事業を耳 社会環境	X 7 & \	旧東海道まちなみ整備事業は、地域団体であるまちなみ整備検討委員会と協力して修景整備を行っている。						
これまで や改善等	の元旦し	平成30年度に電線地中化を軸とした修景整備事業が完了し、今後の方向性について、まちなみ整備検討委員会 でアンケートや意見交換を行った。						
項目別評価	評	価	評 価 理 由					
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当で □ B. ほぼ妥 □ C. あまり □ D. 妥当で	当である 妥当ではない	地域及び関係事業者との協議を重ねながら、修景整備事業を地域と一体となって取り組んでいる。					
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	□ A. 上がっ ■ B. やや上 □ C. あまり □ D. 上がっ	がっている 上がっていない	旧東海道修景整備を地域と一体となり推進しており、地域の機運も高まっている。					
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高 □ C. やや低 □ D. 低い		地域と一体となって取り組んでいることから、地域の要望をできるだけ反映させながら計 画的に事業が進んでいる。					
総合評価		おり事業を進める 関模や見直しが必要						
	□ A. 貢献し	ている	大津市中心市街地活性化基本計画終了後、重点的に取り組む方針である「宿場町大津に相					

		大津市中心市街地活性化基本計画終了後、重点的に取り組む方針である「宿場町大津に相応しい歴史的資産の活用」について地域と一体となって取り組んでおり、貢献度は高い。
27 1127 12	□ D. 貢献していない	
	- 1 1 12 .	

	<u> <6. 今後</u>	その方向性> ACTION
		□ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
	方向性	□ 3. 終期の設定 ■ 4. 終了 (平成31年度) □ 5. 休止 □ 6. 廃止
	7) III II	旧東海道修景整備事業は、電線地中化を軸とした修景整備事業が完了したことから平成31年度で終了とする。
		なお、今後の方向性については、引き続き、まちなみ整備検討委員会で検討を行っていく。
		事業は、平成31年度で終了するが、今後も地域住民と連携して、歴史的資源を活用した事業について検討を進めてい
ı	部局長	⟨。
	コメント	
	コメント	

区:	分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目 標	指標1	91.00 %	100.00 %	100.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+9.89 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	50,300 千円	13, 702 _{千円}	1,884 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標 1	1,658 _{千円}	411 _{千円}	56 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-75. 21 %	-86. 24 %

整	理	番号	3	14												
部	尼	3 名	都市計画	画部	所属名 都市魅力づくり推進課					所,	属長	岸本	宏			
事務事業名 00693 都市再生拠点施設管理選					設管理運	営事業					記	入者	松岡	俊也		
< 1	. ;	基本事項	須>													
		区分	コード				名	;	称			+0	4hn			
		方針	03	安心、惊	央適に住る	み続ける	ことので	できる活力の	あるる	まちを創	削ります					
総合		政策	02	コンパク	クトで質(の高い持	続可能な	なまちにしま	す			/4	1) 1)			
画の電		施策	01	都心エリ	ノアの再:	生と地域	形成									
巨的	'	視点	01	都心エリ	ノアの再	<u></u> 生							する			
	ı	重事	01		ノアのに		IH.					10万	引計画			
	_		_ ド	ді- В —	,, -,,-			事 業 名	称				ード		所属名	3. 称
関連							T 100	т ж ц	1131				•	+	771 71-20	4 1.1.
事業	<mark>- 事業</mark>															
												钳				
予			会計		評価対象		נינל	*7 + = + +hn -						УЦ	小	7√1
算 事	H	川又	五司	行化	計画列系	* 学术		都市再生拠点	只 他設	官埋埋	呂爭耒賀		<u> </u>			
業	ı															
	4	由心事組	5批注州	ルのため	<u>।</u>	10年度	<i>I-</i> - -	フル. <i>た</i> .F	旧口割	7.汇十净	太古足江	動、子育て支持	空 / 净 唐	うを	体記レーク	•
												動、丁育で又が した「まち家っ				
事業	(1)				て管理道			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				0.2.		.,,,,	.,,,,,	
概	安															
			-													
		方法			指定管理	里者 口	民間委託	f 口出資	到体	委託	□ 補助	金交付 口 その	の他()
<u><2</u>		事業分	折 > I	PLAN												
		目 的]	中心市街	封地を活	性化する	ために									
	(何	[のため]	こ)													
	3	対 象	ļ.	明日都湖	兵大津及	びまち家	オフィス	ス結を								
	(何	又は誰	を)													
	3	手 段	ť		流、子育 [·]	て支援、	健康施設	殳(明日都 浜	大津)	及び=	コワーキン	/グスペース([*]	まち家オ	トフィス	(結) として	て利活
نغ)	のも	こうなやり)方で)	用し												
	J	或 果	Į	人と情報	吸が活発!	に交流す	る施設と	≐する。								
(どの	よう	な状態にす	するのか)													
		経費>														
				平成2	9年度	平成3	0年度	令和元年	变	令和	2年度	令和 3年度			着	
				決算額	決算額(千円) 決算額(千円)			円) 決算額(千円) 予算額(千円) 見込			見込額(千円)	備				
	直	接経費	A		207, 125		228. 044					, 998 214, 529				
		件費			8, 520			,), 078), 270		9, 420	•	9, 420			
車		<u> Q</u> 貴合計 A			215, 645						214, 418	223, 949	_			
77	木 り	[3			213, 043			230,								
事業	费		= <u> </u>				0		0		0	0	1			
の財	源				0		0		0		0		 			
内	訳				0		0	4.0	0		0	10.710	1			
			D他 DUT		8, 371		17, 844		587		25, 359	18, 746	_			
vedd.		一般			207, 274		219, 968	212,			189, 059	205, 203	-			
職		員 数	(人)		1. 50		1. 65		. 70		1. 45	1. 45	_			
職員	数	正	規		0. 90		1. 05		. 10		0. 95	0. 95				
の内		嘱	託		0. 00		0.00		0. 00		0. 00	0. 00				
		臨	時		0. 60		0.60	0	0. 60		0. 50	0. 50				
< 4	. :	指標>	DO													
			指	標	名		単	位	目標	・実績	平成29年			_	合和 2年度	令和 3年度
		明日都測	大津の	利活用面	槓			m ²	E	標	14, 9			4, 931	14, 931	0
活	1							***	美	尾 績	13, 9	14, 931	14	4, 931		_
動	[明日都測	大津内	向き区画	の床利流	5用面積										
活動指標	٦								E	標						
標	2								美	尾 績						
	-							Å				.				
	┪	明日都沒	兵大津の	来場者数	τ				F	目標	3, 0	3, 000	3	3, 000	3, 000	0
<u>_</u>	1 I							人			2. 4	197 2, 521	2	2, 419	_	_
		明日都浜大津の1日の平均来場者数					実績 2,497			_, -,						
<u>以</u>		明日都洱	兵大津の	1日の平	均来場る	皆数										
以 果 指						旨数			F	3 捶	2.8	300 2 898	1 3	3. 000	3 105	0
以 果 指 標				1日の平 辺の通行		皆数		人		標	2, 8			3, 000	3, 105	0
成果指標 L	2	明日都沒	兵大津周	辺の通行			行导	Д		目標 尾績	2, 8			3, 000 3, 422	3, 105 -	0

事業を耳 社会環境	A Y O Y WATERLY	には、H27の大津市保健所等が入居し、企業局撤退後のスペースには、H30年4月から滋賀リ 中山スポーツ跡にはびわ湖ブルーエナジーがH31年2月に入居している。
これまで や改善等	の元担し =n. 1 +c. 1	に事務所をまちなかに移転し、まち家を活用したオフィスモデルとして「まち家オフィス結」を開 なつながりを生み出す拠点として管理運営をしている。
項目別評価	評価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではな □ D. 妥当ではない	明日都浜大津の事業費は、多くが他の権利者への使用料や施設管理組合、明日都浜大津全体管理組合への管理費、負担金である。まち家オフィス結の事業費は、新たなつながりを 生み出す拠点施設としての維持管理費である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	□ A. 上がっている ■ B. やや上がっている □ C. あまり上がってい □ D. 上がっていない	明日都浜大津は、中心市街地の回遊性の向上や活性化に寄与しており、施設周辺の通行量も増加している。また、まち家オフィス結は、新たな交流の輪を広げる場所として活用されている。ない
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高い■ B. やや高い□ C. やや低い□ D. 低い	明日都浜大津の1~3階部分は、複数の地権者が存在するため、施設の権利関係や施設管理手法が複雑であるが、関係所属と情報共有し連帯して適性な維持管理に努めている。また、まち家オフィス結は、コワーキングスペースを併設し、利用者同士をつなげるだけではなく、行政と利用者の新たなつながりを生む施設となっている。
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を □ 3. 事業規模や見直し	
	ニ A	「古足汗動・スタイ士性・健康の伽方佐弥(明日教派士津)なが新たたったが川を出る出す

 ■ A. 貢献している □ B. やや貢献している □ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない	市民活動、子育で支援、健康の拠点施設(明日都浜大津)及び新たなつながりを生み出す 拠点施設(まち家オフィス結)として活用を図っており、中心市街地の回遊性の向上や活性化に寄与している。
 	<u></u>

< 6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
力 同 E	明日都浜大津については、施設の老朽化が進んでいることから、浜大津都市開発㈱と協議しながら、施設の修繕や改修 を行うなど適正な維持管理を行っていく。まち家オフィス結については、交流の輪を広げる場所として、適切な管理運 営を行っていく。
部 局 長コメント	明日都浜大津は、市民が利用しやすい施設となるよう適正な維持管理に努めること。まち家オフィスについては、人と のつながりを生み出す拠点施設として、さらなる利活用を進めていく。

区:	分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
目 標	指標1	83. 23 %	84. 03 %	80.63 %		
達成率	指標2	73. 25 %	73. 63 %	114.06 %		
成果	指標1	- %	+0.96 %	-4. 04 %		
増減率	指標2	- %	+4. 04 %	+60.35 %		
活動単位	指標 1	15 千円	15 千円	15 千円		
コスト	指標2	0 _{千円}	0 _{千円}	0 _{千円}		
成果単位	指標 1	86 _{千円}	94 _{千円}	95 _{千円}		
コスト	指標2	105 千円	111 千円	67 _{千円}		
コスト増	減率	- %	+7. 28 %	-23. 17 %		

				수	3和 2年	度 事務	事業評価	ラシート		「令和元年	F度事後評	平価1
整理	番号	3	15		- 11 1) VIVET IE			2 1- 14-2		
部	局 名	都市計画	画部		所	属 名 都市魅力	りづくり推進課	所属	長	岸本 宏		
	事業名		都市再生	生活動促 [;]	進事業			記り	者	松岡俊	也	
<1.	基本事	項>										
	区分	コード			名	称		根	±bn			
<i>₩</i> ∧ =1	方針	03	安心、惊	央適に住る	み続けることの	できる活力のある	まちを創ります	法令				ļ
総合計 画の位	政策	02				なまちにします						
置付け	施策	01	–		生と地域形成			——— <mark>関連</mark>	する	都市再生	整備計画、均	地域
	視点	01		ノアの再生	_			個別		一十二二四		
	重事	01	都心エリ	Jアのに :	ぎわい創出	NII						
関連		ード			事務	事業名称			- F	В	所属名称	
事業	-											
		=1	±+.	+	싹 1 루 미리	1 =	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<i>h</i>		#/s #n	<i>4h</i> ₩□	
予		計 会計	枠 政策	評価対象	業種別	子	21 2 112	台		炉 朔	終期	
算 事	一方	云山	以東	計Ш刈多	(争未	都市再生活動促	進爭某質					
業	-											
	中心市役	打地を活	性化する	ため、オ	(津市中心市街)	<u>I</u> 地活性化協議会や	株まちづくり大き	<u>■などと連携</u>	笙2斯	大津市中心	市街地	
事業の	活性化基	基本計画	に掲げら	れた事業	美に取り組んでき	きた。計画終了後	の本計画の評価を	と踏まえ、更なる	回遊性	の向上や賑	わいの	
概要	創出を図		、官民連	携による	6琵琶湖湖岸等6	の公共空間を活用	した事業や町家な	などの歴史的資源	を活用	した事業を	推進し	
	(,,,,											
運営	方 法	■ 直営	f \Box	指定管理	捏者 ■ 民間委	託 □ 出資団係	本委託 ■ 補助	金交付 □ その)他 ()
<2.	事業分	析> F	PLAN									
	目 的)	中心市街	町地を活1	生化するため							
(1	可のため	(=)										
	対 象	₹	中心市街	野地におり	いて							
(1i	可又は誰	を)										
	手 段	ž	公共空間	引を活用	した事業や町家	など歴史的資源を	活用した事業を	実施することによ	こり			
(どの。	ようなやり	り方で)										
	成 集	ŧ	回遊性を	を向上され	せ、にぎわいを	創出する						
	うな状態に	するのか)										
<3.	経費>	DO										
				9年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度		備	考	
			決算額	(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)		Pild	.,	
	接経費			56, 371	43, 871	89, 562	110, 131	28, 553				
	、件 費 費合計 /			12, 300	16, 400	1	34, 843	34, 843				
				68. 671	60, 271	124, 957	144, 974	63, 396				

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	岬 ~
直	i接経費 A	56, 371	43, 871	89, 562	110, 131	28, 553	
人	、件 費 B	12, 300	16, 400	35, 395	34, 843	34, 843	
事業	費合計 A+B	68, 671	60, 271	124, 957	144, 974	63, 396	
	国	23, 247	16, 913	7, 774	26, 201	0	
事業費 の財源	県	0	0	0	0	0	
内訳	起債	0	6, 100	28, 000	54, 700	0	
1 3 11/4	その他	12, 300	0	0	0	0	
	一般財源	33, 124	37, 258	89, 183	64, 073	63, 396	
職	員数(人)	1.50	2. 00	4. 65	4. 45	4. 45	
마 무 %	正規	1.50	2. 00	4. 15	4. 05	4. 05	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
021/3E/C	臨時	0. 00	0.00	0. 50	0. 40	0. 40	

<4. 指標> DO

		指標名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度				
		中心市街地活性化事業に係る会議		目標	75	75	75	75	0				
活	1	開催数及び参加数	囙	実績	136	100	92	-	-				
動		中心市街地活性化事業(中心市街地活性	化協議会関係、各事	業の運営委員	会、協議会等	等)に係る会	議開催回数						
指揮		公共空間活用事業の実施日数	В	目標	10	10	10	10	0				
標	2		ı	実績	228	127	70	-	-				
		公共空間活用事業として実施する実日数	3共空間活用事業として実施する実日数										
		中心市街地歩行者等通行量(1日	1	目標	11, 650	12, 050	12, 470	12, 900	0				
成	1	あたり)	^	実績	10, 254	8, 908	12, 627	ı	-				
果		休日における中心市街地の歩行者、自転	車の通行量		,								
指揮		琵琶湖観光客入込客数(浜大津~	万人/年	目標	160	161. 5	162	163	0				
標	2	膳所)	カス/ キ	実績	184. 5	178. 8	163. 1	-	_				
		湖岸部への入込客数のうち中心市街地の	入込客数										

事業を明 社会環境	メッケー よ 中口は推っして	市中心市街地活性化基本計画が終了し、当計画の評価を踏まえ、更なる中心市街地活性のた 琵琶湖湖岸等の公共空間を活用した事業や歴史的資源を活用した事業の展開を図っている。
	V. 元. 但 し	携による取り組みが必要であり、H30年4月に大津市中心市街地活性協議会を継承するび 会議が設立、H30年5月には、本市も参画する大津宿場町構想実行委員会を設立した。
項目別評価	評価	評 価 理 由
	■ A. 妥当である	中心市街地活性化に必要な事業であり、市が地域と協働で取り組む事業である。
妥当性	□ B. ほぼ妥当である	
(実施主体又は手段は妥当か)	□ C. あまり妥当ではない	
	□ D. 妥当ではない	
有効性	■ A. 上がっている	中心市街地の賑わい創出や回遊性の向上を図ることを目的に、琵琶湖湖岸等の公共空間を
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. やや上がっている	活用した事業を実施しており、通行量及び琵琶湖観光客入込客数が目標を上回っている。
記載の成果は上がっている	□ C. あまり上がっていない	
か)	□ D. 上がっていない	
41	■ A. 高い	賑わいの創出や回遊性の向上に寄与するイベント等の活性化事業を官民連携して積極的に
効 率 性 (事業手法は効	□ B. やや高い	取り組んでいる。
率的である	C. やや低い	
か。)	□ D. 低い	
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める	ることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
形口計Ш	□ 3. 事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A 貢献1.ている	施策評価の数値目標を達成するための中心となる事業であり、まちの回遊性を図り滞在時

NEOK OF		施策評価の数値目標を達成するための中心となる事業であり、まちの回遊性を図り滞在時 間を延長させるとともに、賑わい創出に大いに貢献している。
	□ B. やや貝臥している	
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

<6. 今	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
)) IPJ II	琵琶湖を活かした豊かな自然環境や文化、湖上スホーツ等の魅力をさらに向上させていくため、地域や関係者の意見を
	聞きながら、琵琶湖湖岸等の公共空間の利活用をともに進め、河川空間と都市空間が融合したまちづくりを進めていく
	。また、まち家など歴史的資源を活用した事業については、引き続き、リノベーションまちづくりの取り組みを進める
	引き続き、琵琶湖湖岸等の公共空間と中心市街地における空き町家などの歴史的資源を生かしたまちづくりを地域住民
部局長	や民間事業者とともに進めていく。
コメント	

区分	分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目 標	指標1	88. 01 %	73. 92 %	101. 25 %
達成率	指標2	115.31 %	110.71 %	100.67 %
成 果	指標1	- %	-13.12 %	+41.74 %
増減率	指標2	- %	-3.08 %	-8. 78 %
活動単位	指標1	504 _{千円}	602 千円	1,358 千円
コスト	指標2	301 千円	474 _{千円}	1,785 千円
成果単位	指標1	6 千円	6 千円	9 千円
コスト	指標2	372 千円	337 千円	766 千円
コスト増	減率	- %	-3.16 %	+78.66 %

<u>整理番号</u> 316 316 316 316 316 316 316 316 316 316															
部 局 名 都市計		都市計画	画部			所『	属 名 都市	†魅力づ	うくり丼	進課	所『	属長	岸本 笼		
事務?	事業名	01899	旧大津!	公会堂管	理運営事業									俊也	
															
	区分	コード				名	7			大津市[日大津公会	全堂条例			
	方針	03		中滴に住	み続ける	_	できる活力の	根	拠	ı		<u> </u>			
総合計	政策	02					なまちにしまっ	——————————————————————————————————————	令等	ı]'			
画の位置はは	+/- ^/-	01	+		生と地域形		10. 2.								
置付け	視点	01		リアの再生		1212					関連		ı		J '
	重事	01			エ ぎわい創と	щ]計画	ı		J '
		<u>」 い</u> コード	1日)· · · · ·	77 0/			事業名	称				_ ド		所属名	私
関連						3 VIV	平 木 -	J.1.				 		[7] N=4	42).
事業	 											\longrightarrow			
	-	≐ ⊥	枠	重	業種別	211		고,	竺 重	- 娄 夕			もム 甘P	• 終期	+g
予		<u>計</u> 设会計					L Nt // A		算事				加 201	* 市宅 7 v	A
算事	_ Xii	法制	符化	評価対象	(争未		旧大津公会堂	<u></u> 全管埋埋	<u>車宮争</u> 。	<u>業費</u>		—			
業	 		 '	—								—			
	TU 55 2	○ 年 帝 -	 	<u> </u>	一口士津/	へ合力	- 中心事徒	山洋性/	- 一小圳	上歩弧と	して機能を果た	++-め	「レ信	却ぶみ流	
											して機能を果た ㈱まちづくり大				
事業の	* 体記リ				こ取り組ん				%пь,	05	NO 3	./ ↑ € 15.	. B	20]
概要	<u> </u>	_	-		-		·]
334	<u></u>														
	方法	■直営			里者 口 目	<u> </u>	t 口出貧	資団体委	:託	□ 補助金	金交付 口 その)他 ()
	事業分		P L A N		" ~ ± 1/4										
	目 的		中心巾19	街地活性化	とのため										
	何のためし	-		~ ~ 			·	-10. 4							
	対 象 C = /-=# -		平队∠∠	2年度1∼・	リニュー	アルしに	た旧大津公会	堂を							
	何又は誰る		·41 + + ;	* / (1 +	· - 16-	`-'		L A	<u>'-</u> - ₩	· ~		-,			
	手 段	^	(株)まっ.	うくり入∦	聿を指走す	蒼埋石 c	:して商耒旭:	設との	一体的	な沽用と	運営に取組むる	ことで			
	ようなやり			·-·>	-1- N ·	·	и одыл Е	7	· · · - 12 - - 1 -		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	100 /16 1			
	成 果		人と情¥	般が父流!	し、甲心に	†街地ル	5性化の拠点	となる」	地域父	流まちっ	くり施設として	こ機能さ	さる。		
	うな状態にす														
<u><3.</u>	経費>	DO	- 15.												
				29年度	平成30		令和元年度		令和 2		令和 3年度		備	考	
			決算額	頁(千円)	決算額(千円)	決算額(千円	<u>円)</u>	予算額(千円)	見込額(千円)		-		
	直接経費			14, 677	<u> </u>	11, 959	12,	, 051		11, 114	10, 976	<u> </u>			
	人件費		[6, 150		6, 560		, 980		4, 150	4, 150				
事業	費合計 4		<u> </u>	20, 827	 	18, 519	17,	, 031		15, 264	15, 126				
		国	<u> </u>	0	<u> </u>	0	Ī	0		0	0				
事業費の財源		県	<u> </u>	0		0	ī	0		0	0				
の財源内訳		債		0		0	ī	0		0	0				
I√1 ⊞√		の他		5, 659	<u> </u>	5, 659	5,	, 749		6, 341	6, 341				
		段財源		15, 168		12, 860		, 282		8, 923	8, 785				
職		(人)	<u> </u>	0. 75		0. 80	1	0. 60		0.50	0. 50	-			
	正	規		0. 75	i	0.80		0. 60		0. 50	0. 50				
職員数の内訳		託		0.00		0.00		0. 00		0.00	0.00	1			
の内で	臨			0.00		0.00		0. 00		0.00	0.00				
< 4.	指標>								_						
		指	標	名		単	. 位	目標・	実績	平成29年月	度 平成30年度	令和元年	≢度 令₹	和 2年度	令和 3年度
	自主事業	業の実施						目標			6 6		6	6	0
连 1	1										9 9		10	-	_
動	自主事業	業の回数							実績 9						
指	旧大津/						Γ,				4 4		4	4	0
		公会堂テ	ナント数				数 —		#		4 4				
標 2		公会堂テ	ナント数	女			数	目標			3 3		4	_	_
2							数	目標 実統					4		
2	旧大津公	公会堂に	ナント数 入居する 来場者数	る店舗数	<u></u>			実統	績		3 3		000	63, 000	0
標 2	旧大津公	公会堂に	入居する	る店舗数	$\frac{\perp}{\Box}$		人 人	実約目標	標		3 3 00 63,000	63,	000	63, 000	0
標 2 成里	旧大津公	公会堂に 公会堂の	:入居する)来場者数	る店舗数 <u></u> 数)年間来場	 		実統	標	63, 00	3 3 00 63,000	63,	000	63, 000	0
	旧大津公田大津公公共施設	公会堂に 公会堂の	入居する 来場者数 びテナン	る店舗数 <u></u> 数	の年間来場			実利目標	標績	63, 00	3 3 00 63,000 69 97,070	63, 99,	000	63, 000	0 -

4, 724

集会施設の年間利用料金収入

4, 739

4, 307

事業を明 社会環境	<mark>^ / ひ 、</mark> ユー L I #==1.人 # <i>+</i>	2年に中心市街地の拠点施設の旧大津公会堂として、リノベーションされ、㈱まちづくり大 管理運営している。来場者数については、良好に推移している。
これまで や改善等	U) 元.但 し	、定期的に事業報告を受けて随時協議の上で、運営の見直し等を行っている。㈱まちづくり 市長が取締役)にも出席し、意見交換を行っている。
項目別評価	評価	評 価 理 由
	■ A. 妥当である	指定管理者である㈱まちづくり大津がテナント部分も含めて一体的に管理運営している。
妥当性	□ B. ほぼ妥当である	
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あまり妥当ではない	
	□ D. 妥当ではない	
有 効 性	□ A. 上がっている	令和元年10月に新たに入ったテナントが開店したこともあり、来場者は順調に推移して
(事業分析の 「成果」欄に	■ B. やや上がっている	いる。
記載の成果は上がっている	□ C. あまり上がっていない	
か)	□ D. 上がっていない	
+1 ++ 14	■ A. 高い	旧大津公会堂を一体的に管理し、イベント等にも取り組んでいることから、効率的な運営
効 率 性 (事業手法は効	□ B. やや高い	がなされている。
率的である か。)	□ C. やや低い	
73.0	□ D. 低い	
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める	Sことが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
	□ 3. 事業規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	ー A 子共していて	大主が中心主体地の抑点体がし ア敦彦 七体弛でも またたかし海岸を結ざ道領し

	■ A. 貢献している	本市が中心市街地の拠点施設として整備した施設であり、まちなかと湖岸を結ぶ導線とし
	□ B. やや貢献している	ても重要な施設である。また、来場者数は、増加しており、施策の目的に貢献している。
	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

L		□ D. 貢献していない
₹	く6. 今後	後の方向性> ACTION
	方 向 性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□) □ 5. 休止 □ 6. 廃止 来場者は、新たなテナントが、令和元年10月に開店したこともあり増加した。今後もまちづくりの拠点施設としての役割をさらに向上させるため、自主事業や情報発信機能の充実を図るとともに、賑わい創出に寄与する定期的なイベント開催を行うなど、事業の定着化を図っていく。また、歴史的な遺産でもあり、適正な維持管理に努めていく。
	部 局 長 コメント	指定管理者である㈱まちづくり大津と連携し、適正な施設管理に努めるとともに、自主事業の充実などにより、人と情 報の交流によるさらなる賑わいの創出が図られるよう事業展開していく。

区:	分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目 標	指標1	157. 25 %	154. 07 %	157.89 %
達成率	指標2	217. 29 %	217. 98 %	198.11 %
成果	指標1	- %	-2.01 %	+2. 47 %
増減率	指標2	- %	+0.31 %	-9.11 %
活動単位	指標1	2,314 _{千円}	2,057 _{千円}	1,703 _{千円}
コスト	指標2	6,942 千円	6,173 千円	4, 257 _{千円}
成果単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	4 _{千円}	3 千円	3 _{千円}
コスト増	減率	- %	-9.88 %	-6.82 %

整理番号		3	11									
部 局 名 都市		都市計画	画部		所。	属 名 都市計画	画課		所属	<mark>長</mark> 坂	本 和好	
事務事	事業名	01879	都市計画	画施策調:	整事業	•			記 <i>7</i>	人 者 古	山 精一	
< 1.	基本事	項>								<u> </u>		
	区分	コード			名	称				都	市計画法	
	方針	03		九帝ノーノナ	み続けることの	根						
総合計						法 ?	等					
画の位	政策	02			の高い持続可能が	よまちにします					<u> </u>	
置付け	施策	01	都心エリ	ノアの再:	生と地域形成				関連		津市総合計画基	
	視点	02	整ったな	. 英交通	網を活かす拠点塾						大津市国土利用	日計画
	重事	03	コンパク	フトな都	市構造の構築							
	П	ード			事務	事業名称				- F	所属名	称
関連												
事業										-		
		=L	<u></u>	市	**************************************	-	佐 市	* 夕			44 中 - 42 中	П
予		計	枠	-	業種別	了		業名			始期 · 終期	Н
算	一般	会計	特定	評価対象	某	都市計画施策調	整事業費					
事業												
*												
						「中山間部地域						
事業の						より個別の事業 びく本市都市計画						
概要						パータ 中部 中部 画 2.適正化計画の策!			R足を11つた。	十八乙94	- 反以阵は、仰	
		3331612	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 7/2/3	· XICE - (12		AC C 13 7 6	,				
運堂	方 法	■ 直営	<u> </u>	指定管理	理者 □ 民間委詞	壬 □ 出資団体	太委託	□ 補助全	☆交付 □ その)他 ()
	事業分		LAN			t D HADI	T X 110			716 (/
					おいても.仕み続し	ナられるコンパク	トかまち	づくりか.	ナ- かー			
		-	八口顺	TAIC	030 · C O ITO/1961	7546512717	1 445	2 () ()	7_071			
	可のため		\ _ \ _ \ /	√ 1-4s								
	対		大津市台	主域								
(作	可又は誰	を)										
	手 段	2										ため
(どの。	ようなやり	り方で)	手 段 本市における基礎調査による課題の分析及び解決すべき課題の抽出、まちづくりに方針の検討、課題解決の の施策・誘導方針の検討、地元説明会の開催、庁内作業部会や都市計画審議会の意見聴取等の実施								り実施	
(201347976)												
	成果	ŧ	立地適口	E化計画	を策定することに	こより、持続可能	なまちづ					
	成 果		立地適正	E化計画	を策定することに	こより、持続可能	なまちづ					
(どのよう	な状態に	するのか)	立地適正	E化計画	を策定することに	こより、持続可能	なまちづ					
(どのよう								くりが促	進される			
(どのよう	な状態に	するのか)	平成2	19年度	平成30年度	令和元年度	令和 2	くりが促	進される <mark>令和 3年度</mark>		備考	
(どのよう く3 .	5 な状態に 経費>	するのか) DO	平成2	19年度 [(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)		くりが促 年度 (千円)	進される <mark>令和 3年度</mark> 見込額(千円)		備考	少来山
(どのよう) く3 .	経費>	するのか) DO A	平成2	9年度 (千円) 18, 081	平成30年度 決算額(千円) 2,988	令和元年度 決算額(千円) 1,151	令和 2 予算額(マリが促 年度 (千円) 216	進される <mark>令和 3年度</mark> <mark>見込額(千円)</mark> 0	立地適正化	備 考	経費は
(どのよう) く3 .	を状態に 経費> 接経費 件費	DO A B	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676	令和元年度 決算額(千円) 1,151 7,719	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304	進される <mark>令和 3年度</mark> <mark>見込額(千円)</mark> 0 7,304	立地適正化平成29年	備考	経費は
(どのよう) く3 .	接経費 件費	D O A B A + B	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664	令和元年度 決算額(千円) 1,151 7,719 8,870	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520	進される <mark>令和 3年度</mark> <mark>見込額(千円)</mark> 0 7,304 7,304	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう) く3. 直 人 事業	接経費〉	D O A B A + B 国	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676	令和元年度 決算額(千円) 1,151 7,719	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304	進される <mark>令和 3年度</mark> <mark>見込額(千円)</mark> 0 7,304	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう く3. 直 人 事業責	接経費 件費 費合計 月	DO A B A+B 国	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664	令和元年度 決算額(千円) 1,151 7,719 8,870	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520	進される <mark>令和 3年度</mark> <mark>見込額(千円)</mark> 0 7,304 7,304	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう く3.	接経費 件費 費合計 月	D O A B A+B 国	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0	進される <mark>令和 3年度</mark> <mark>見込額(千円)</mark> 0 7,304 7,304 0	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう) く3. 直 人 事業費	接経費 件費 是合計 人	DO A B A+B 国	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0	令和元年度 決算額(千円) 1,151 7,719 8,870 0	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0	進される <mark>令和 3年度</mark> 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう く3.	接軽費>	DO A B A + B 国	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0	進される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 0	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう) く3. 事業財 事別内	接軽費>	DO A B A + B 国 県 債 D D 他	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 0	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520	能される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 0 0 7,304	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう) (3) 直入 事業財源	経費 > 接軽費 供食計 供食計 供食計 供食計 した。 ・した。 した。 ・した。 した。 ・した。 ・した。 ・した。 ・した。 ・した。 ・した。 ・した。 ・	po A A B B A + B 国 B 使 po 他 B B D D M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 0 25, 007	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 0 12,664	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 0 8, 870	令和 2 予算額((千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 0 7,520	使される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 0 0 7,304 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよ: (3) 事業財 事の内 職員数	経費	A	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 0 25, 007 1, 18	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 0 12,664 1.18	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0 0 0 0 8	進される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 0 7,304 0 0 0 0 88 0.88	立地適正化平成29年	備 考	経費は
(どのよう) (3) 事業財 事業別 職	を 接機費 接機費 上 供	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 0 25, 007 1. 18 0. 00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 0 12,664 1.18 1.18	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 0 8, 870 0. 93 0. 93 0. 00	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0 0 8 0 0.88 0.88 0.00	使される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 0 0 0 0 0 0 88 0.88 0.88	立地適正化平成29年	備 考	経費は
である。 (どのよう) (どのよう) 事業財 事業財 職の内 職の内	接機	pont A B A + B B 使用 (平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 0 25, 007 1, 18	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 0 12,664 1.18	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0 0 0 0 8	進される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 0 7,304 0 0 0 0 88 0.88	立地適正化平成29年	備 考	経費は
である。 (どのよう) (どのよう) 事業財 事業財 職の内 職の内	を 接機費 接機費 上 供	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1. 18 1. 18 0. 00 0. 00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93 0. 93 0. 00 0. 00	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0.88 0.88 0.00 0.00	使される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 7,304 0 0 0 0 0 7,304 0 88 0.88 0.00 0.00	立地適正化平成29年	備 考 に計画基礎調査 F度より計上	
である。 (どのよう) (どのよう) 事業財 事業財 職の内 職の内	経費経費提供件合計したできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできる<	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 0 25, 007 1. 18 0. 00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 0 12,664 1.18 1.18	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93 0. 93 0. 00 0. 00	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0.88 0.88 0.00 0.00	能される 令和 3年度	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上	経費は
である。 (どのよう) (どのよう) 事業財 事業財 職の内 職の内	接機	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1. 18 1. 18 0. 00 0. 00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93 0. 93 0. 00 0. 00	令和 2 予算額(年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0.88 0.88 0.00 0.00	使される 令和 3年度 見込額(千円) 0 7,304 7,304 0 0 7,304 0 0 0 0 0 7,304 0 88 0.88 0.00 0.00	立地適正化平成29年	備 考 に計画基礎調査 F度より計上	
(どのよう) (3) 事業財 職の内 職数訳 (4)	経費経費提供件合計したできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできるしたできる<	A B A + B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1. 18 1. 18 0. 00 0. 00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00	今和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2 予算額(・ 票・実績	年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0.88 0.88 0.00 0.00	能される 令和 3年度	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上	
(どのよう) (3) 事業財 職の内 職数訳 (4)	を 経費	A B A + B 国 D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1.18 1.18 0.00 0.00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00 0.00	今和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2 予算額(票・実績 目標 実績	年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 7,520 0 0 8 0,88 0.88 0.00 0.00	使される 令和 3年度	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上 を 令和 2年度 3 3 3 1	
とのよう 本業財職の内 職の人 4 活動指	を 経費	A B A + B 国 D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1.18 1.18 0.00 0.00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93 0. 93 0. 00 0. 00	令和 2 予算額(・ ・ 実績 目標 要 平成:	年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 7,520 0 0 8 0,88 0.88 0.00 0.00	使される 令和 3年度	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上 を 令和 2年度 3 3 3 1	
である。 (どのよう) (とのよう) 事業財 事業財 職の内 職の内	を 経費	A B A + B 国 D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1.18 1.18 0.00 0.00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93 0. 93 0. 93 0. 00 0. 00 位 目材回	令和 2 予算額 (年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 7,520 0 0 8 0,88 0.88 0.00 0.00	使される 令和 3年度	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上 を 令和 2年度 3 3 3 1	
とのよう 事業財職の 事業財職の 4 1 1 1 2 3 4 5 5 6 7 6 7 6 7 7 8 8 9 9 1 1 1 1 1 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4	を 経費	A B A + B 国 D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1.18 1.18 0.00 0.00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 8, 870 0. 93 0. 93 0. 93 0. 00 0. 00 位 目材回	令和 2 予算額(・ ・ 実績 目標 要 平成:	年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 0 7,520 0 0 8 0,88 0.88 0.00 0.00	使される 令和 3年度	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上 を 令和 2年度 3 3 3 1	
とのよう 事業財職の 事業財職の 4 1 1 1 2 3 4 5 5 6 7 6 7 6 7 7 8 8 9 9 1 1 1 1 1 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 8 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4	A 表表表 上 上	するのか) A B A + B B D B M M M M M M M M M M M M M M M M	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1.18 1.18 0.00 0.00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 0 8, 870 0.93 0.93 0.00 0.00 位 目材 回	令和 2 予算額(事・ 事・ 標 種 標 種 標 種 標 種 標 種 標 種 標	(千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 7,520 0.88 0.88 0.00 0.00	進される 令和 3年度	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上 麦 令和 2年度 3 3 3 1 -	
とのよう 事業財職の 事業財職の 4 1 1 1 2 3 4 5 5 6 7 6 7 6 7 7 8 8 9 9 1 1 1 1 1 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 8 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4	A 表表表 上 上	A B A + B 国 D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	平成2 決算額	9年度 (千円) 18, 081 9, 676 27, 757 2, 750 0 0 25, 007 1.18 1.18 0.00 0.00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 0 8, 870 0.93 0.93 0.00 0.00 位 目様 回 目様	令和 2 予算額 (年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 7,520 0.88 0.88 0.00 0.00	能される 令和 3年度 見込額(千円)	立地適正化 平成29年 令和元年度 画に向けた	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上 3 3 3 1 - 二協議数 0 100	
とのよう 事業財職の 事業財職の 4 1 1 1 2 3 4 5 5 6 7 6 7 6 7 7 8 8 9 9 1 1 1 1 1 2 3 4 4 5 6 6 7 8 9 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4 5 6 6 7 8 8 9 1 1 1 1 1 1 2 2 3 4 4	接機 接機 接機 機 上 上 上 上 機 内 ス 作 マ 水 大	するのか) A B B A H B B B B B B B B B B B B B B B	平成2 決算額 標	9年度 14千円) 18,081 9,676 27,757 2,750 0 0 25,007 1.18 1.18 0.00 0.00	平成30年度 決算額(千円) 2,988 9,676 12,664 0 0 12,664 1.18 1.18 0.00 0.00	令和元年度 決算額(千円) 1, 151 7, 719 8, 870 0 0 0 0 0 8, 870 0.93 0.93 0.00 0.00 位 目様 回 目様	令和 2 予算額(事 事 事 事 標 事 標 事 標 標 事 標 標 事 種 標 手 標 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長	年度 (千円) 216 7,304 7,520 0 0 0 7,520 0.88 0.88 0.00 0.00 0.00	# される	立地適正化平成29年	備 考 と計画基礎調査系 F度より計上 3 3 3 1 - 二協議数 0 100	

V О . Н ПР			
事業を明 社会環境	取りまく 竟の状況		化社会を迎えたことや、防災意識の高まりなど社会情勢が大きく変化していることから、持 を進めていくことが急務となっている。
	の見直し 等の経過	大津市都市計画マス 。	タープランに基づき、コンパクトな都市構造へと誘導する計画を策定することが重要である
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)		ぎ妥当である まり妥当ではない	人口減少、少子高齢化は、税収の減少、生活利便性や地域の魅力の低下、公共交通の更なる減便・廃止等の様々な問題が生じることが懸念されることから、コンパクト+ネットワークによるまちづくりを推進する立地適正化計画を策定する。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あま	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	居住誘導区域、都市機能誘導区域を設定することで、コンパクトなまちづくりを具体化することができる。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. や ⁴ □ C. や ⁴	や高い や低い	都市計画審議会、近畿地方整備局との協議、また、都市計画マスタープラン作成時と同様 に7地域に対し、住民説明を行う予定であり、計画的に策定作業を進めている。
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
	■ A. 貢献	献している	居住及び都市機能誘導区域を設定し、長い時間をかけて誘導することは、都心エリアの再

	■ A. 貢献している	居住及び都市機能誘導区域を設定し、長い時間をかけて誘導することは、都心エリアの再
施策への	□ B. やや貢献している	生と地域形成に貢献している。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

ш		_		
_	< 6. ·	今後	との方向性> ACTIOI	N
	方向	性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 3. 終期の設定 + 津ま都も計画フィタープラ	□ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 4. 終了 (□ 0. 廃止 □ 0. 廃止 □ 1. 次のである。 □ 2-6. 本のも、都市機能
				ンに基うさ、「コンハクトサイットクークによるようし、り」を推進するため、都川機能 な計画を示す立地適正化計画を策定し、住み続けられるコンパクトなまちづくりの実現を
	部 局・コメン	長		っては、庁内作業部会を通じて関係所属との協議・調整を行うとともに、都市計画審議会 を伺い、計画に反映させること。また、市民への説明の際には、計画に対する不安を解消 と。

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目 標	指標1	100.00 %	61.53 %	85. 71 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	+53.84 %	+50.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	0 千円	12,664 _{千円}	8,870 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	1,067 _{千円}	316 千円	147 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-70.34 %	−53.30 %

整	里番号	3	12														
部	局 名	都市計画							所	属長	坂 ^z	卜 和:	好				
事務	事業名	02393	中山間部	邻地域活性	生化推進	事業						記	入者	古山	└ 精·	_	
<u>く1. 基本事項</u> >																	
	区分	コード				名		称						都市	5計画:	法	
	方針	03		央適に住 <i>る</i>	み続ける		できる活力の		まちを貪	ります			拠				
総合計		02					まちにしま なまちにしま		, J C //	1, 7, 0, 7		法	令等				
画の位	<u> </u>		<u> </u>				3 4 5 C C 4	- 9				_		thu	1. 門立7.	ᄥᇸ	性化基本
置付け		01	都心エリアの再生と地域形成 個性や資源を活かした地域の活性化								- 関語	重する				:地区実施	
	視点	03	個性や貧	資源を活力	かした地	域の活性	主化						リ計画		国、都		
	重事	01	中山間地	也域活性化	上の促進												
		ード				事 務	事 業 名	称					ード		亨	「属	名 称
関連																	
事業																	
	슾	計	枠	事	業種	뭬		予	算	業 省	ጟ			ф	台期	終	期
予		会計		評価対象		,,,	-t-,1,88 ±7,44.				-				1 /41	11/4	771
算事	עניו	ДП	以水	口一四人)为	子不		中山間部地	以冶注	11.推进	争未复							
業													1				
			M. 11. H	1# +0 / - 1		=*	1 1 1 1/10	III. ==	1 = 451.		111.1-4	1 1 1 1 1 1 1	- ÆD 11	, L 		1 1-2	
							とした、仰に										
事業の) (+ ス 四)						いて支援を 導入と利用										5
概要	בנותו שייייייייייייייייייייייייייייייייייי	心、烂术	~ -1 HC C	. ~ ~	. 14	心が収り	サノ、こ 作り用り	031)	O III KB	:灬い正社	11	/ 、 则及/	⊔ / IJ V.	人心上汉	או כ ון	, 0	
運営	方法	■ 直営		指定管理	堵 □	民間委託	f 口出資	資団体	委託	□ 補助	金交付	寸 口そ	の他	()
	事業分		PLAN							>3							•
<u> </u>	目的				いる中山	間部(2	r市北部地域	め既存	7集落)	の地域に	舌性化	のために					
(何のため	-	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		TIPS HIS (*)			, , , , ,		_ ,_ ,0	-,,,,,,,					
	• •		エギョゼ	4.マッセ:	Z./m 1. ₩	ははにおし	いて、地域活	トルイレノー	一向什么	F 新 ナ わっ	71\Z	ナカニ					
			~) /V	EP C 401	의배사판	場にのい	、 (、 地域/山	ショエコレト	- +] \ / r	当期でんじ	といる	カベに					
(何又は誰			/	= C++ - 1												
	手 段	Ž	まちつく	くりへのキ	組織の立	ち上げる	を支援して										
(どの	ようなやり	/方で)															
				也域住民が主体となり、具体的な地域活性化事業を進められるようにする。													
	成 昇	Į	地域住民	見が主体の	となり、	具体的な	\$地域活性化	1事業を	を進めら	かれるよう	うにす	る。					
(どのよ	成 男		地域住民	民が主体。	となり、	具体的な	は地域活性化	:事業を	を進めら	わるよう	うにす	る。					
	うな状態に		地域住民	民が主体。	となり、	具体的な	3.地域活性化	と事業を	を進めら	られるよう	うにす	る。					
		するのか)										る。 3年度					
	うな状態に	するのか)	平成2	9年度	平成3	0年度	令和元年	度	令和	2年度	令和	3年度			備	考	
<3.	経費>	するのか) D O	平成2	9年度 [(千円)		0年度 (千円)		度円)		2年度	令和	D 3年度 額(千円)) 5 - 1.1			
<3.	を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	するのか) DO	平成2	9年度 i(千円) 1,132	平成3	0年度 (千円) 218	令和元年, 決算額(千	度 円) 484	令和	2年度 (千円) 0	令和	D 3年度 額(千円)	_	25より	単独の	予算事	業
<3.	きるな状態に 経費> 直接経費 人件費	DO A B	平成2	9年度 (千円) 1,132 2,870	平成3	0年度 (千円) 218 2,870	令和元年 決算額(千 2,	度 円) 484 , 905	令和	2年度 (千円) 0 0	令和	D 3年度 額(千円) () H 2	25より24まで	単独の	予算事	業
<3.	きる状態に 経費> 直接経費 人 件 費	D O A B A + B	平成2	9年度 i(千円) 1,132	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088	令和元年 決算額(千 2,	度 円) 484	令和	2年度 (千円) 0 0	令和	D 3年度 額(千円) (_		単独の	予算事	業
<3.	きる状態に 経費> 直接経費 人 件 費	DO A B A+B	平成2	9年度 (千円) 1,132 2,870	平成3	0年度 (千円) 218 2,870	令和元年 決算額(千 2,	度 円) 484 , 905	令和	2年度 (千円) 0 0	令和	口 3年度 額(千円) (() H 2		単独の	予算事	業
<3.	きる状態に 経費> 直接経費 人 件 費	DO A B A+B	平成2	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088	令和元年 決算額(千 2,	度 円) 484 , 905 , 389	令和	2年度 (千円) 0 0	令和	口 3年度 額(千円) (() H 2		単独の	予算事	業
<3.	きる状態に 経費> 直接経費 人 件 費	DO A B A+B	平成2	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0	令和元年 決算額(千 2,	度 円) 484 , 905 , 389 0	令和	2年度 (千円) 0 0 0	令和	口 3年度 額(千円) ((() H 2		単独の	予算事	業
<3.	直接経費	DO A B A+B	平成2	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0	令和元年 決算額(千 2,	度 円) 484 , 905 , 389 0	令和	2年度 (千円) 0 0 0 0	令和	D 3年度 額(千円) ((() H 2		単独の	予算事	業
<3.	直接経費 人件費 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	DO A B BAA+B 国	平成2	9年度 (千円) 1, 132 2, 870 4, 002 0 0	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0	令和元年 決算額(千 2, 3,	度 円) 484 905 389 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和	2年度 (千円) 0 0 0 0 0	令和	D 3年度 額(千円) ((((() H 2		単独の	予算事	業
<3.	直接経費>	DO ABA+B国 最	平成2	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 0 4,002	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0	令和元年 決算額(千 2, 3,	度 円) 484 .905 .389 0 0 0 0 0	令和	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0	令和	D 3年度 額(千円) ((((((H 2		単独の	予算事	業
事業 事業 事業 事業 が 内	直接経費 直接経費 上記で、 ののでは、 のので	DO A B A+B 国 具 債 の他 は財源 (人)	平成2	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 0 3,088	令和元年 決算額(千 2, 3,	度 (円) 484 , 905 , 389 0 0 0 0 0 , 389	令和	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和	13年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2		単独の	予算事	業
事業 事が 職員	経費	DO A B B A + B 国	平成2	9年度 (千円) 1, 132 2, 870 4, 002 0 0 0 4, 002 0, 35 0, 35	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35	令和元年 決算額(千 2, 3, 3,	度 円) 484 , 905 , 389 0 0 0 0 , 389 0. 35	令和	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和	D 3年度 額(千円) ((((((((((0.00 0.00	H 2		単独の	予算事	業
事業 事業 事業 事業 が 内	直接経費>	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2	9年度 (千円) 1, 132 2, 870 4, 002 0 0 0 4, 002 0. 35 0. 00	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, 3,	度 円) 484 , 905 , 389 0 0 0 0 , 389 0. 35 0. 35 0. 00	令和	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和	D 3年度 額(千円) (((((((((((0.00 0.00 0.00	H 2		単独の	予算事	業
事業	直接 接費 直接 件合計 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	DO	平成2	9年度 (千円) 1, 132 2, 870 4, 002 0 0 0 4, 002 0, 35 0, 35	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35	令和元年 決算額(千 2, 3, 3,	度 円) 484 , 905 , 389 0 0 0 0 , 389 0. 35	令和	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和	D 3年度 額(千円) ((((((((((0.00 0.00	H 2		単独の	予算事	業
事業 事が 職員	A 表表表 本 本 本 表 上 よ 上 よ 上 よ 日 よ	DO ABA+B 国具 债加期 (規規 氏力 成規 に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	平成2 決算額	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00	平成3	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, 3,	度 円) 484 . 905 . 389 0 0 0 0 . 389 0 0. 35 0. 35 0. 00 0. 00	予算額	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2	2 4 ま で	単独のは別の	予算事統合事	章業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	A 表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	A B A A 国 R 债 D I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, 3,	度 (H) (484) (905) (389) (00)	予算額・実績	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「度」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2)))))))))))	2.4まで	単独のは別の	予算事統合事	事業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	直接費 基費 直接件合計 具数正嘱 過数正嘱 地域活	A B A A 国 R 债 D I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, ((((((度 (H) (484) (905) (389) (00)	予算額	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2)))))))))))	2 4 ま で	単独のは別の	予算事統合事	事業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	A 表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	A B A A 国 R 债 D I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成2 決算額	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, 3,	度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 389 0. 35 0. 35 0. 00 0. 00 1 世標	予算額・実績	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「度」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2)))))))))))	2.4まで	単独のは別の	予算事統合事	事業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	 直接費 提費 基接 基度 <l< th=""><th> A</th><th>平成2 決算額 標 けた啓発</th><th>9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00</th><th>平成3 決算額</th><th>0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00</th><th>令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位</th><th>度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 389 0. 35 0. 35 0. 00 0. 00 1 世標</th><th>令和予算額・実績1標</th><th>2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」</th><th>1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((</th><th>H 2)))))))))))</th><th>2.4まで</th><th>単独のは別の</th><th>予算事統合事</th><th>事業</th></l<>	A	平成2 決算額 標 けた啓発	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位	度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 389 0. 35 0. 35 0. 00 0. 00 1 世標	令和予算額・実績1標	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2)))))))))))	2.4まで	単独のは別の	予算事統合事	事業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	 直接費 提費 基接 基度 <l< th=""><th> A</th><th>平成2 決算額 標 けた啓発</th><th>9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00</th><th>平成3 決算額</th><th>0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00</th><th>令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位</th><th>度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 0 389 0. 35 0. 35 0. 00 0. 00 1 世標 目標</th><th>令和 予算額 · 実績 目標</th><th>2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th><th>令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」</th><th>1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((</th><th>H 2)))))))))))</th><th>2.4まで</th><th>単独のは別の</th><th>予算事統合事</th><th>事業</th></l<>	A	平成2 決算額 標 けた啓発	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位	度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 0 389 0. 35 0. 35 0. 00 0. 00 1 世標 目標	令和 予算額 · 実績 目標	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2)))))))))))	2.4まで	単独のは別の	予算事統合事	事業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	A 表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	A	平成2 決算額 標 けた啓発	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位	度 H) 484 . 905 . 389 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	・実績	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2)))))))))))	2.4まで	単独のは別の	予算事統合事	事業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	A 表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	A	平成2 決算額 標 けた啓発	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位	度 H) 484 . 905 . 389 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 予算額 · 実績 目標	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((H 2)))))))))))	2.4まで	単独のは別の	予算事統合事	事業
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	直人費 投費 直接件合計 しません 最大性 しません 最大性 しません 最大性 しません 日本 <	ABA+B BA+B BA+B BA+B BA-B BA-	平成2 決算額 標門けた啓発	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位	度 (PD)	・ 実 標 標績 標績	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 1 1 1	1 3年度 額(千円) ((() () () () () () () () () () () ()	日	2.4まで 2.4まで 3.1	単独のは別の	予算事 統合事 2年度 0	事業 事業 令和 3年度 0
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	直人費 投費 直接件合 」 最大 」 上 上 大 」 上 上	A B A H B B A H B B A H B B A H B B A H B B A H B B A H	平成2 決算額 標件 た 啓発 イベント	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () 位	度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 389 0 0, 389 0 0, 35 0, 00 0, 00 0 1 世標 目標 目実	令和 予算額 実績 課績 課績 課績 課績	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	1 3年度 額(千円) (((((((((((((((((((日	2.4まで	単独のは別の	予算事統合事	事業 事業 今和 3年度 0
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	直接費 投費 直接件合計 型 型 型 型 型 上 型 上 型 上 型 上 型 上 型 上 <	A B A B B A B B A B B A B B B B B B B B	平成2 決算額 けた啓発 イベント けた組織	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () () () () () () () () () ()	度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 389 0. 35 0. 00 0. 00 1	令和 <mark>予</mark>	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 3 1 2 1	1 3年度 額(千円) ((() () () () () () () () () () () ()	日	2.4まで 2.4まで 3.1	単独のは別の	予算事 統合事 2年度 0	事業 事業 今和 3年度 0
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	直接費 投費 直接件合計 型 型 型 型 型 上 型 上 型 上 型 上 型 上 型 上 <	A B A B B A B B A B B A B B B B B B B B	平成2 決算額 けた啓発 イベント けた組織	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, (((((((((((((((((((((((((((((((((度 484 , 905 , 389 0 0 0 0 389 0. 35 0. 00 0. 00 1	令和 <mark>予</mark>	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 3 1 2 1	1 3年度 額(千円) ((() () () () () () () () () () () ()	日	2.4まで 2.4まで 3.1	単独のは別の	予算事 統合事 2年度 0	事業 事業 今和 3年度 0
本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	直接費 投費 直接件合計 型 型 型 型 型 上 型 上 型 上 型 上 型 上 型 上 <	A B A B B A B B A B B A B B B B B B B B	平成2 決算額 けた啓発 イベント けた組織	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () () () () () () () () () ()	度 円) 484 905 389 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 <mark>予</mark>	2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 3 1 2 1	1 3年度 額(千円) ((() () () () () () () () () () () ()	日	2.4まで 2.4まで 3.1	単独のは別の	予算事 統合事 2年度 0	事業 事業 今和 3年度 0
Table Ta	直人費 投費 直大費 2 直接件合 2 具型 2 上級 2 上級 2 地支地 3 大学 3	A B A B B A B B A B B A B B B B B B B B	平成2 決算額 けた啓発 イベント けた組織	9年度 (千円) 1,132 2,870 4,002 0 0 4,002 0.35 0.35 0.00 0.00	平成3 決算額	0年度 (千円) 218 2,870 3,088 0 0 0 0 3,088 0.35 0.35 0.00 0.00	令和元年 決算額(千 2, 3, () () () () () () () () () () () () ()	度 (円) (1) (484 (1) (905 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	令和 予算額 · 標績 標績 I 標績 I 標績 I 標績 I 展積 I 展積 I 展積 I R (2年度 (千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 見込 3 1 2 1	1 3年度 額(千円) ((() () () () () () () () () () () ()	日	2.4まで 2.4まで 3.1	単独のは別の	予算事 統合事 2年度 0	事業 事業 今和 3年度 0

(C) HIMS CITEOU								
事業を取りまく 社会環境の状況 中山間地域における少子高齢化、農林業の担い手減少が進む地域において、地域住民が主体となって行うまちづ 社会環境の状況 くり活動への支援を適正に行う必要がある。								
これまで	の見直し	地域住民自らが主体となった組織が継続的・自立的に地域活性化事業を進められるよう、地域の自主的な事業の						
や改善等	等の経過	実施に対して支援を	行ってきた。					
項目別評価	評	価	評 価 理 由					
	■ A. 妥当	当である	地域主体による活性化事業が、自立的かつ継続的に実施できるよう、住民主体の仰木活性					
妥当性	□ B. ほ!	ぎ妥当である	化委員会に対し側面的に支援しており、手法は妥当である。					
(実施主体又は 手段は妥当か)	□ C. あa	まり妥当ではない						
	□ D. 妥≦	当ではない						
有 効 性	□ A. 上 <i>t</i>	がっている	住民主体の仰木地区活性化委員会が、活動をPRするための仰木大収穫祭の開催や販売拠					
(事業分析の 「成果」 欄に	■ B. やも	や上がっている	点となる「わさいな仰木」の建築を行うなど、自立に向けた活動が活発になっていること から事業効果が上がっている。					
記載の成果は上がっている	□ C. あa	まり上がっていない	から手未効未が上がっている。					
か)	□ D. 上#	がっていない						
±1 ++ 14	□ A. 高し	۸,	自立的にかつ継続的に事業が実施できるよう、仰木大収穫祭のPR業務などの支援を最低					
効 率 性 第業手法は効	■ B. やも	や高い	限の委託費により行っており、効率性の高い事業である。					
率的である	□ C. や ⁴	や低い						
か。)	□ D. 低U	۸,						
総合評価	■ 1. 計画	国どおり事業を進める	ことが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要					
松古計Ш	□ 3. 事刻	業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要					
		_						
	□ A. 貢献	献している	活性化委員会が主体となった活動が進むことから、側面的に支援することはまちづくりの					

貢 献 度	■ B. やや貢献している □ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない	活性化に貢献することとなる。	
	- 1 - 1 - 1		

VO. 718	その方向注/ ACii	<u>ON</u>				
	□ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの_	上で継続(□ 2-1. 拡充・重	重点化 □ 2-2.手段等の	改善□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合	□ 2-6. その他)		
方向性	□ 3.終期の設定	■ 4.終了(平成31年度) □ 5.休	:止 □ 6.廃止	
万间性	経済的支援は令和元年度に 支援を行っていく。	:終了し、今後は、	地域が主体となっ	って地域振興策を	自立的・継続的に実施でる	きるように人的
部局長	住民主体の仰木地区活性化 に実施できるよう、関係部				=	
コメント	検討すること。また、持続	抗可能な事業化のた	めの手法や財源の	雀保について、引	き続き検討を行う。	

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標	指標 1	50.00 %	33. 33 %	33. 33 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	4,002 千円	3,088 千円	3,389 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標 1	4,002 千円	3,088 千円	3,389 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-22. 83 %	+9. 74 %